

# 医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 199 号  
2014 年 6 月 11 日  
日本医労連  
増員・夜勤改善闘争本部  
TEL: 03-3875-5871

## 夜勤改善・増員署名47万筆

2年目をスタートします！

全国の仲間のみなさんが取り組んだ「夜勤改善・大幅増員署名」は、約9ヶ月で469,244筆（目標比20.6%）になりました。（添付の署名数参照）国会会期に合わせ、紹介議員を通じて提出いたしました。忙しい中でのご奮闘、本当にありがとうございました。

発文書ですでに連絡致しましたが、この6月から2年目の署名スタートです。来年通常国会に提出しますので、同じ人が署名して大丈夫です。来年5月末まで、初めて1年間の取り組みになります。今から年内にかけて重視し、100万筆の署名提出をめざします。第8次看護職員需給見通しに反映させるべく、職場からの取り組みを重視します。100万筆突破し、世論を揺るがしましょう！



## 総合法案山場

医療・介護総合法案の審議が参議院厚生労働委員会に移り、連日の国会前座り込み、院内集会、委員会傍聴と運動を強めています。

日本医労連本部も積極的に参加し、廃案に向けて奮闘しています。

## 国会内外の運動が情勢を変えつつある



「廃案しかない！医療・  
介護総合法案」院内集会

6月12日（木）12時～13時  
参議院1階・講堂

★ぜひ、ご参加を！

参議院厚労委での審議は、日本共産党・小池議員の厳しい追及が目を見はります。厚労省の法案ミスや、介護の2割負担の根拠を崩すなど、当初、11日採択が検討されていた中で、日程の目途が立たない状況をつくっています。

中央社保協の呼びかけに応えた厚労委への抗議・要請FAXは、衆議院では「紙代を貰いたいくらい」と秘書から皮肉られていたのが、参議院では「沢山頂いています」「全て目を通し、議員に要旨を渡しています」と世論を無視できないといった態度の変化が見て取れます。薬師寺議員（みんな）、福島議員（社民）も、1本1本の法案がいのちに直結していると、分けての審議を主張しています。

連日、何らかの国会行動、座り込み、請願が行われ、国会内を追い詰めています！